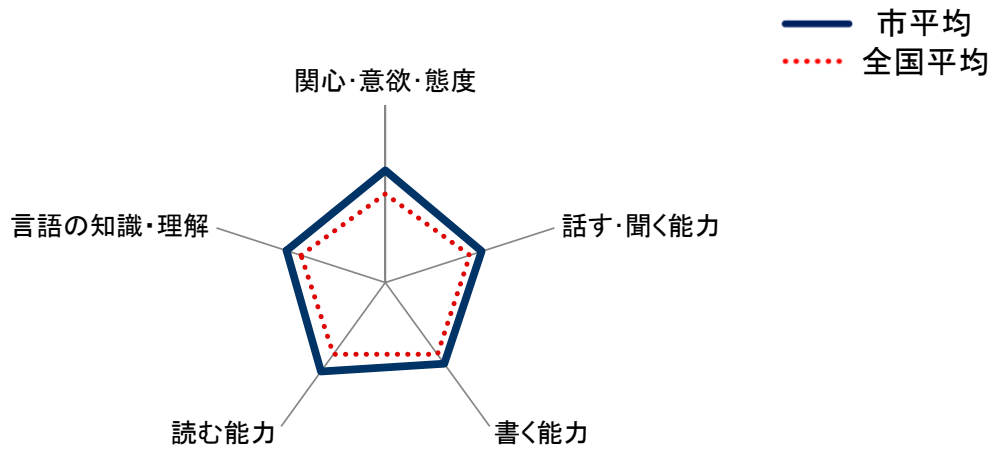


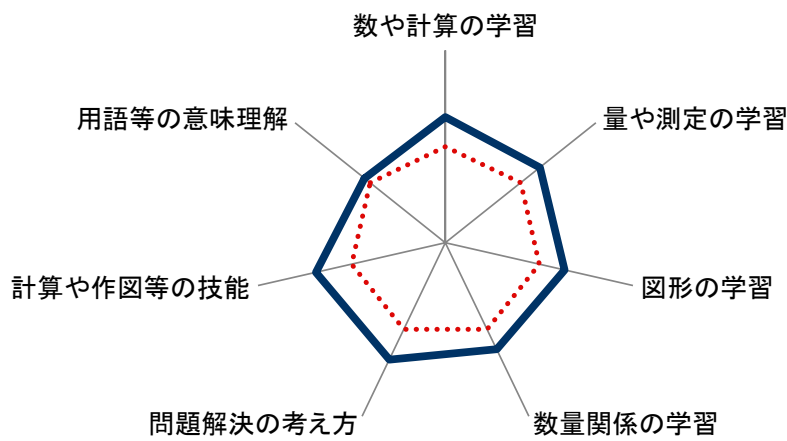
○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

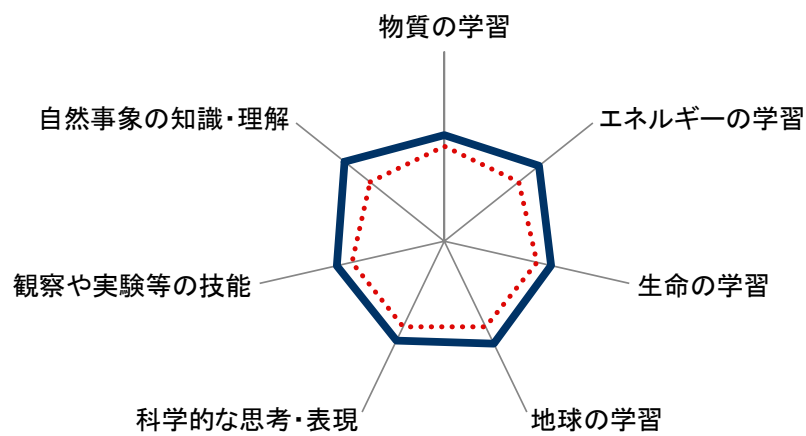
【国語】



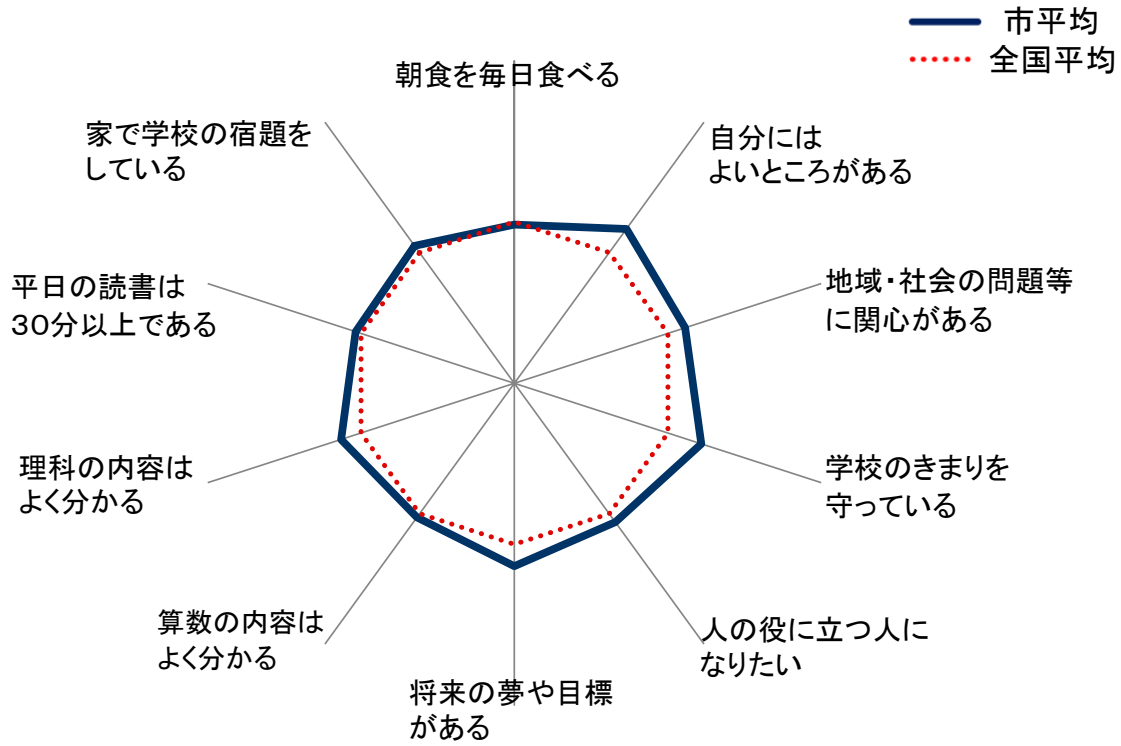
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、算数、理科の全ての項目で全国平均とほぼ同じか上回っており、結果は良好である。特に国語は「関心・意欲・態度」や「読む能力」、算数は「問題解決の考え方」、理科は「自然事象の知識・理解」の各項目が良好である。今後、更なる学力の向上と定着に向けて、児童一人一人の課題をしっかりと分析するとともに、各教科における知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、取り上げている多くの項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。特に自尊感情や地域・社会への関心については、昨年度と同様、良好であるとともに、本年度「平日の読書は30分以上である」の項目が全国平均を上回り、改善が見られた。今後は、例年全国平均を下回っている朝食の摂取と併せて、更なる基本的な生活習慣確立の改善を目指すとともに、例年良好な結果を残している自尊感情等と併せて授業理解に関する項目が向上するよう、児童一人一人の実態に応じたきめ細やかな指導や授業改善への取組が望まれる。